

2001(平成13)年度私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会総会 議事要録

日時：2001(平成13)年5月25日(金)10時30分～15時45分
場所：金城学院 本部棟 5階502会議室
出席：33館 48名、委任状提出館13館

議事に先立ち、理事校金城学院大学より、図書館課長星けい子、図書館館長西原一幸、学院長・学長戸田安士が開会の挨拶をおこなった。

【議長選出】

理事校の金城学院大学図書館館長西原一幸を議長に選出した。

議長より、加盟45館のうち33館の出席があり、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第7条第2項<総会は、加盟館の過半数の出席をもって成立するものとする。>の要件を満たしているので本総会は成立したとの宣言をおこなった。

【議事】

報告事項

1. 2000(平成12)年度東海地区協議会事業報告

前年度理事校椋山女学園大学(清水氏)より、総会資料(p.4~6)に基づき報告がおこなわれた。p.4<審議事項>6 2000年度以降の東海地区協議会役員校及び私立大学図書館協会理事校・当番校については、昨年度より、ルール化できたこと、また相互協力委員会の活動により文献複写徴収猶予の電子的申請認可システムが可能になり改善されたことの報告がなされた。

2. 2000(平成12)年度東海地区協議会研究会事業報告

前年度研究会幹事校皇學館大学(田中氏)より、総会資料(p.7~8)に基づき報告がおこなわれた。

3. 2000(平成12)年度東海地区協議会相互協力委員会事業報告

前年度相互協力委員会委員長校中部大学(菘島氏)より、総会資料(p.9~15)に基づき報告がおこなわれた。また、紀要・学内学会誌分担保存について、誌名変更等がある場合は理事校または委員長校に連絡をして欲しいことの報告がなされた。

4. 2000(平成12)年度東海地区協議会情報化委員会事業報告

前年度情報化委員会委員長校南山大学(笹山氏)より、総会資料(p.16~18)に

基づき報告がおこなわれた。

5. 2000（平成12）年度協会関連事項報告

1）部会・協会関係及び関連団体

前年度理事校椋山女学園大学（清水氏）より、総会資料（p. 19～24）に基づき報告がおこなわれた。p. 19の2001年度加盟校数は、3月2日の私立大学図書館協会東西合同役員会での資料であるため4月には増加するとの説明がなされた。

2）協会賞審査委員会・研究助成委員会

委員会委員野口氏（愛知大学）より、総会資料（p. 25～28）に基づき報告がおこなわれた。研究助成については、本年度東海地区からの申請があり審査の結果、助成を受けることが決定したことの報告がなされた。

3）国際図書館協力委員会

委員会委員加藤氏（中京大学）より、総会資料（p. 29～30）に基づき報告がおこなわれた。海外への寄贈搬送事業については、今までは受入先大学を確保しておく必要があったが、私立大学図書館協会国際図書館協力委員会が相手先大学を探して受け付けることになったとの説明がなされた。

4）協会HP委員会

委員会委員鈴木（金城学院大学）より、総会資料（p. 31～33）に基づき報告がおこなわれた。また、協会ホームページのURLが変更になったことと、次年度以降の委員・協力委員については総会資料p. 33のようにルール化されているとの報告がなされた。

6. 新規加盟館

理事校金城学院大学（鈴木）より、総会資料（p. 34）にもとづき東邦学園大学から新規加盟の申込みがあったことが報告された。正式に加盟が承認されるのは、今年度明治大学で開催される私立大学図書館協会総会であることもあわせて報告された。

審議事項

1. 2000（平成12）年度東海地区協議会決算（案）及び監査報告について

前年度理事校椋山女学園大学（清水氏）より、東海地区協議会の決算について総会資料（p. 35～36）に基づき提案があった。

前年度研究会幹事校皇學館大学（田中氏）より、東海地区協議会研究会の決算について総会資料（p. 37）に基づき詳細説明があった。

前年度相互協力委員会委員長校中部大学（菘島氏）より、東海地区協議会相互協力委員会の決算について総会資料（p. 38）に基づき詳細説明があった。

前年度情報化委員会委員長校南山大学（笹山氏）より、東海地区協議会相互協力委員

会の決算について総会資料（p. 39）に基づき詳細説明があった。

つづいて、監査校愛知工業大学（川口氏）より、証憑書類を精査した結果、適正に執行されたとの報告があった。

以上について、原案どおり承認された。

2. 2001（平成13）年度東海地区協議会役員校および委員校（案）について

理事校金城学院大学（鈴木）より、総会資料（p. 41）に基づき提案があり、原案どおり承認された。

3. 2001（平成13）年度東海地区協議会事業計画（案）について

理事校金城学院大学（鈴木）より、総会資料（p. 42）に基づき提案があり、承認された。

4. 東海地区協議会ホームページ用サーバー（案）について

理事校金城学院大学（鈴木）と南山大学（笹山氏）より、総会資料（p. 43～52）に基づき、現在金城学院大学図書館に間借りしている東海地区協議会ホームページを、レンタルサーバーに移行する提案があった。また、加盟館の定型フォームを作成し、ホームページのない大学との格差をなくすようにすること、「館灯」電子化に伴う費用は「館灯」刊行費として支出するため、研究会幹事校の負担にならないことの説明があり、原案通り承認された。

5. 2001（平成13）年度東海地区協議会予算（案）について

理事校金城学院大学（鈴木）より、総会資料（p. 53）に基づき提案があり、電子版「館灯」1999～2001年版作成費の価格の再交渉をすることで原案どおり承認された。

6. 2001（平成13）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）について

研究会幹事校岐阜聖徳学園大学（長澤氏）より、総会資料（p. 54～55）に基づき「図書館の一般開放について」のテーマで開催するとの提案があり、原案どおり承認された。

7. 2001（平成13）年度東海地区協議会相互協力委員会事業計画ならびに予算（案）について

相互協力委員会委員長校愛知大学（長坂氏）より、総会資料（p. 56～57）に基づき提案があり、原案どおり承認された。

8. 2001（平成13）年度東海地区協議会情報化委員会事業計画ならびに予算（案）について

情報化委員会委員長校南山大学（笹山氏）より、総会資料（p. 58～59）に基づき提案があり、原案どおり承認された。

9. 2001（平成13）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理

事校・当番校（案）について

理事校金城学院大学（鈴木）より、総会資料（p. 60）に基づき提案があり、原案どおり承認された。

その他

1. 日本複写権センターへの対応について

中京大学（加藤氏）より、文献複写に関して、国立大学とともに私立大学図書館も「実務要綱A案」と「アクションプラン」により、利用者に著作権について啓蒙運動を開始する必要があることの説明がなされた。

2. 「コンソーシアムとして電子データのネットワーク利用を前提に、レファレンス・コンソーシアムの有効性に関する実証研究」について - 実証実験への協力をお願い -

愛知工業大学（加藤氏）より、はじめに、総会資料（別紙）に基づき、研究申請者の氏名変更の報告及び研究概要についての説明があり、研究申請者による研究に目途がみついたら、より多くの事例を蓄積したいので加盟図書館員に協力をさせていただきたいとの申し出がなされた。また、日外アソシエーツより提供されたレファレンス電子ツールの公開・試用方法等については検討中であることの説明があった。

3. C A N私立大学コンソーシアム協定について

愛知学院大学（足立氏）より、総会資料（別紙）に基づき、東海地区の参加の募集をおこなっていること、2002年度より図書相互利用についてもおこなっていくことの説明があった。

4. 私学間コンソーシアムによる共同出資事業について

愛知大学（野口氏）より、総会資料（別紙）に基づき日本私立大学連盟がすすめている「私学間コンソーシアムによる共同出資事業」について説明がなされた。